

【不祥事根絶に向けた本校の決意】（行動基準）

- 1 私たちは、子ども達を守り、育てます。
- 2 私たちは、法令を遵守します。
- 3 私たちは、不祥事を許しません。
- 4 私たちは、開かれた学校にします。

不祥事根絶のための行動計画

福山市立西深津小学校

区分	本校の課題	行動目標	取組内容	点検方法・時期
教職員の規範意識の確立	<ul style="list-style-type: none"> <li>○服務研修において、研修プログラムの改善・充実が十分とは言えない。</li> <li>○教職員としての高い規範意識や行動規範が十分とは言えない。</li> <li>○形から教職員としての意識を高めることも必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○服務研修の方法や内容等を見直し、より体験的な研修（演習研修等）を実施し、研修効果が実感できるようにする。</li> <li>○職員室をはじめ、教室を含めたすべての教室に掲示物を設置する。また、名札の裏に「教育の原点」「求められる教職員像」の縮小版をカード化し常時携帯する。</li> <li>○時と場に応じた適切な服装、身の回りの整理整頓を徹底する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○服務研修に係る自己客観視評価シートを活用し、方法や内容等を改善する。</li> <li>○行動規範に係る各種掲示物を作成し、掲示するとともに、携帯する。</li> <li>○面談等で指導するとともに、日常的に指導や声かけ等をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学期に1回程度、服務研修について自己客観視評価シートを活用する。</li> <li>○学期に1回程度、服務研修などの中でチェック・確認をする。</li> <li>○学期に1回程度、面談を実施する。</li> </ul>
学校組織としての不祥事防止体制の確立	<ul style="list-style-type: none"> <li>○管理職以外の教職員同士が相互に資質向上を図る取組が必要である。</li> <li>○不祥防止策に係るプログラムのさらなる充実をする。</li> <li>○不祥事を許さず、教育目標を達成できる学校風土・文化の確立をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教職員同士のコミュニケーションをさらに促進し、各主任を中心に仕事を進めることができるようにする。</li> <li>○ボトムアップ型の研修ができるようにする。</li> <li>○学校としてのめざす姿や方向性を共有しベクトルをそろえ協力体制を確立する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学年会や各部等で互いの仕事の進捗状況を確認し、互いにサポートする体制をつくる。</li> <li>○不祥事防止委員会のメンバーで研修内容を検討し、講師に位置づける。</li> <li>○具体的な目標やそのための手立て等を明確化し実践する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○月に1回程度、学年会や各部で情報交換を行い、状況を把握する。</li> <li>○月に1回程度、委員会を行い、取組む内容を決定する。</li> <li>○活動ごとに評価・改善策を立て、次の活動につなげる。</li> </ul>
相談体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「体罰、セクシュアル・ハラスメント相談窓口」の周知が年度当初のみであり、認知度が低い。</li> <li>○児童や保護者に対して、「体罰、セクシュアル・ハラスメント」に係るアンケート調査が年1回である。</li> <li>○児童や教職員への面談を充実する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「体罰、セクシュアル・ハラスメント相談窓口」の周知を繰り返し行い、相談しやすい体制をつくる。</li> <li>○児童や保護者の実態や状況を把握する。</li> <li>○児童や教職員の悩みや課題などについて面談を通して、把握する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校たより等で保護者に周知するとともに、校舎内全ての教室にポスターを掲示し、周知する。</li> <li>○児童・保護者に対するアンケートの調査を作成・集約・分析する。</li> <li>○教職員の目標管理に係る自己申告や児童へのアンケート調査後の面談を活用する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○年3回、児童、保護者及び教職員にたよりなどで周知する。</li> <li>○年3回、アンケート調査を行い、担当者が集約・分析等を行う。</li> <li>○学期に1回程度、担任や管理職が面談を行い、状況を把握する。</li> </ul>